

■ 1 風致地区とは

風致地区とは、都市の自然景観や歴史景観を維持し、緑豊かな生活環境や文化的環境を形成することを目的とした地区です。地区の指定は、良好な自然景観、歴史景観を保持している地域や、良好な住環境を維持している地域などを対象とし、都市計画法に基づき指定します。

風致地区において、建築物の建築や木竹の伐採など、風致の維持に影響のある行為をしようとする場合は、条例に基づき豊橋市長の許可が必要です。

■ 2 豊橋市の風致地区

豊橋市では、平成 27 年 4 月時点で、5 地区、約 735ha を風致地区に指定しています。地区ごとに景観特性が異なることから、地区を 3 種類（第 1 種～第 3 種）に区分し、多様な風致に対してきめ細かく規制しています。また、それぞれの地区には、地区の特性や保全の目標などを示した「風致保全方針」を定めています。

◆ 豊橋市内の風致地区の概要 （平成 27 年 4 月 1 日時点）

地区名	指定理由	保全方針（概要）	区 分
石巻山 風致地区	石巻山を中心とした良好な自然景観と、石巻神社などの歴史景観を保全する。	・石巻山の美しい姿を保全するため、地区全体の樹林を保全する。 ・歴史的建造物を保全するとともに、建築行為等は自然景観や歴史景観にとけ込ませる。 など	第 1 種 (約 260ha)
葦 毛 風致地区	葦毛湿原を中心に、周辺の樹林や池沼などの良好な自然景観を保全する。	・葦毛湿原の自然環境を保全する。 ・山並みと麓の樹林を保全する。 ・ため池の自然環境を、里地の田園景観と一体的に保全する。 ・建築行為等は自然景観にとけ込ませる。 など	第 1 種 (約 127ha) 第 2 種 (約 120ha)
赤 岩 風致地区	赤岩山を中心とした良好な自然景観と、赤岩寺などの歴史景観を保全する。	・地区全体の樹林を保全する。 ・歴史的建造物を保全するとともに、建築行為等は自然景観や歴史景観にとけ込ませる。 など	第 2 種 (約 159ha)
岩 屋 風致地区	岩屋山と大蔵山の良好な自然景観と、岩屋観音などの歴史景観を保全する。	・地区全体の樹林を保全する。 ・歴史的資源を保全するとともに、建築行為等は自然景観や歴史景観にとけ込ませる。 など	第 2 種 (約 46ha)
今 橋 風致地区	豊橋公園などの自然景観を、吉田城跡などの歴史景観とともに保全する。	・豊橋公園などの緑を保全する。 ・歴史的資源を保全するとともに、建築行為等は自然景観や歴史景観に調和させる。 など	第 3 種 (約 23ha)

◆ 地区の区分の定義

区 分	定 義
第 1 種風致地区	特に良好な自然景観を有する樹林地、水辺地等の地区で、現存の景観を保全することが必要なものをいう。
第 2 種風致地区	良好な自然景観を有する樹林地、水辺地等の地区及びこれと一体となった良好な住宅地等の地区で、現存の景観を保全することが必要なものをいう。
第 3 種風致地区	第 1 種風致地区及び第 2 種風致地区以外の地区をいう。

◆ 風致保全イメージ

区 分	保全イメージ	イメージスケッチ
第 1 種風致地区	敷地周辺も含めた十分育成した樹林が家屋をおおむね覆い隠し、周辺から眺望しても、建築物が緑にとけ込んで望める地区	
第 2 種風致地区	家屋が樹林間に見え隠れし、周辺から眺望しても、建物等が周辺の樹林、敷地内の樹木と一体となる景観を望める地区	
第 3 種風致地区	家屋が樹林や生垣越しに眺望でき、地区内の歩行者から見て、建物等が既存樹木や植栽樹木・生垣等の緑と調和した街並みを望める地区	

■ 風致保全方針：今橋風致地区

地区名	いまはし 今橋風致地区	面積	約 23ha	指定年月日	昭和 61 年 9 月 24 日
風致類型	緑地保全系：公園・神社仏閣・歴史的文化財型 (歴史的に意義のある史跡を中心とした自然環境の良好な地域)				
指定理由	豊橋公園などの自然景観を、吉田城跡などの歴史景観とともに保全する				
地区特性	<地区の現況> ・豊橋駅の北東に位置し、中心市街地の緑の核となっている。 ・地区内には吉田城跡、豊橋市美術博物館、陸上競技場等があり、歴史・文化及びスポーツの拠点になっている。 ・豊橋ハリストス正教会と安久美神戸神明社を除く区域は都市計画公園（総合公園）に決定されており、その大部分が豊橋公園として供用されている。 ・地区の北側に豊川が流れている。 <地区の歴史> ・本地区のシンボルである吉田城は、1505 年牧野古白により築城され江戸時代は松平氏、小笠原氏の居城であった。 ・安久美神戸神明社では毎年 2 月に国指定重要無形民俗文化財の鬼祭りが行われ、多くの見物客が訪れる。 ・豊橋ハリストス正教会は大正 2 年に建設され、国指定有形文化財になっている。				
主 な 風致要素	<自然環境> ・豊橋公園内は、サクラ、ケヤキ、マツを中心とした植生となっている。 <自然景観> ・豊橋公園内の樹木は、中心市街地におけるまとまった緑として、市街地の中で良好な景観を形成している。 ・地区の北側からは、豊川の流れと一体となった緑豊かな景観を望むことができる。 <歴史景観> ・豊川の流れを手前にし、緑に包まれた吉田城跡の眺めは、市民にとって「ふるさとの風景」になっている。 ・吉田城跡や豊橋ハリストス正教会、安久美神戸神明社などの歴史的資源が数多くあり、趣きのある景観を有している。				
種 別	第 3 種：全域				
保全目標	中心市街地における緑の核として、豊橋公園などの良好な自然景観を、吉田城跡などの文化的環境と一体的に保全する。				
風致保全 方 針	<保全方針> ・豊橋公園と安久美神戸神明社の緑を保全する。 ・豊川の流れを手前にし、緑に包まれた吉田城跡の眺めを、市民の「ふるさとの風景」として保全する。 ・吉田城跡をはじめとした歴史的資源を保全するとともに、建築行為等は自然景観や歴史景観に調和させる。 <育成方針> ・豊橋公園は、歴史や文化にふれあえる身近な癒しの場として整備する。				



◆左:今橋風致地区の全景 豊橋公園の緑が市街地に潤いをもたらしている。 ◆右:陸上競技場横のイチョウ並木



◆左:苔むす石垣の上に、緑に包まれて建つ吉田城の隅櫓(豊川対岸の金色島より) ◆右:市民の憩いの場となっている緑豊かな豊橋公園



◆地区内には、吉田城址をはじめ、多くの歴史的資源や文化施設があり、趣のある雰囲気となっている。 ◆左:豊橋ハリストス正教会(国の重要有形文化財) ◆中:安久美神戸神明社の鬼祭(国の重要無形民俗文化財) ◆右:美術博物館